

東京理科大学

## 特異点・トポロジーセミナーのお知らせ

以下の予定で、特異点・トポロジーセミナーを開催いたします。若手研究者の積極的な参加を歓迎いたします。奮ってご参加ください。

講師：浜田 法行氏（東京大学大学院数理科学研究科）

日時：2015年10月15日（木）、16:30～17:30

部屋：神楽坂キャンパス、1号館15階、1152セミナー室

題目：Sections of Matsumoto's genus-2 Lefschetz fibration and related fibrations

### アブストラクト

レフシェッツ束、及びレフシェッツペンシルはシンプレクティック4次元多様体と深く関係しており、さらに、そのモノドロミーはファイバー曲面の写像類群におけるデーンツイストの間関係式で記述されるため、組合せ的研究が可能である。またレフシェッツ束の(-1)-切断（自己交差数-1の切断）はレフシェッツペンシルのbase pointに対応しており、切断の位置の特定は重要な意味を持つ。一方、松本幸夫氏により構成された種数2のあるレフシェッツ束は最も基本的な例の一つとして知られている。

本講演では、この松本レフシェッツ束の最大個数の(-1)-切断の組を紹介する。さらに関連する話題として、松本レフシェッツ束の高種数化や有限被覆、Smithによる4次元トーラス上のレフシェッツペンシル（早野健太氏との共同研究）などに触れる。

世話人：廣瀬 進（理工学部数学科）  
佐藤 隆夫（理学部第二部数学科）